

第214回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2008年7月18日(金) 13時～17時40分

会場: [東京理科大学薬学部校舎](#) [薬学部](#)1411教室(14号館) [アクセス](#)

[千葉県野田市山崎2641、電話: 04-7121-1501、交通: 東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題: ハイフネーテッド質量分析の最新技術

最近のMS(質量分析: 質量分離の技術)の発展は、GCやLCなどの「質量以外
の分離技術」との接続(ハイフネーション)に依るところが大きいと言えます。本例会
では、様々な“質量以外”の分離技術とMSとのハイフネーションをキーワードに、
メーカーからの最新技術やユーザーサイドからのご講演をいただきます。

講 演

1. 講演主題概説 (13:00～13:05)

(日本電子(株))高橋 豊

2. 新しい高速ECD技術 QuECDの特長と分析例 (13:05～13:35)

(日立ハイテクノロジーズ(株))小林 紀子

3. イオンモビリティスペクトロメリーQ-ToFの応用 (13:35～14:05)

(日本ウォーターズ(株))廣瀬 賢治

4. AccuTOFによる種々のハイフネーテッドMS技術(製品)の紹介 (14:05～14:35)

(日本電子(株))田中 和子

5. 住友化学におけるTLC/MS装置の活用 (14:35～15:15)

(住友化学(株))白崎 美佳

6. MSフロントエンド用ナノフローLC “Prominence nano” の機能と特長 (15:30～16:00)

(島津製作所(株))増田 潤一

7. Microfluidicsを利用したナノテクノロジー: HPLC-Chip/MS (16:00～16:30)

(アジレント・テクノロジーズ(株))澤田 浩和

8. イオン性化合物の定性分析 ～IC-MS接続のポイントと測定例～ (16:30～17:10)

(富士フイルムファインケミカルズ(株))清水 幸樹

9. 総括: 「分離分析と質量分析」 (17:10～17:44.html0)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

参 加 費 (含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで技術・情報交流会を開催します。会費1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申 込 先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]